

野生鳥獣肉の放射性物質簡易測定検査結果

- 【検査期間】 平成25年1月16日～平成25年1月23日
【検査品】 市内の猟友会が捕獲した野生鳥獣の肉
【検査法】 NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータを用いた簡易測定
【検査機器】 米国 CAPINTEC社 CAPTUS-3000A
検出限界 10Bq/kg (Cs-134 Cs-137)カタログ表示値

表の見方

- 【検査日】 野生鳥獣肉を検査した日
【捕獲日】 野生鳥獣を捕獲した日
【検査結果】 単位:ベクレル/キログラム(Bq/kg)
「不検出」とは、放射性物質が検出限界値未満であることを表します。
【検出限界】 放射性ヨウ素 25(Bq/kg)、放射性セシウム134 10(Bq/kg)、放射性セシウム137 10(Bq/kg)

検査日	捕獲日	捕獲場所	検査品目	検査場所	検査結果			
					ヨウ素131	セシウム		
						セシウム134	セシウム137	セシウム合計
1月16日	1月11日	梅田町5丁目	イノシシ肉	桐生	不検出	27	60	87
1月16日	1月13日	川内町5丁目	シカ肉	桐生	不検出	不検出	不検出	不検出
1月23日	1月20日	川内町5丁目	イノシシ肉	桐生	不検出	不検出	11	11

※ この検査は簡易検査であり、精度の高い数値を求める場合は、群馬県のゲルマニウム半導体検出器を用いた精密検査を行うよう要請しています。

今回の検査は、桐生猟友会の要請により、桐生市内の猟野に生息する主となる野生動物の放射性物質検査を試験的に行ったものです。

なお、個人消費に供される獣肉については、食品等の検査結果を参照願います。